

岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静
作曲 伊藤栄治

せん じんのたけ きん かざん ひゃくりのみず な が ら がわ
(が) かいのなみ あ ら く と も き ぼ う の き し と お く と も

か よ う の けんじ こ こ に う ま れ て こ っ か の た め に あ け く れ ま な ぶ が
か よ う の けんじ こ こ ろ お お し く ひ ゃ く せ つ ふ と う

つ と め て や ま ず ふ る へ ふ る へ ほ こ る さ い こ の

れ き し あ る わ が こ う こ う の ほ ま れ を ば あ げ よ も

ろ び と も ろ と も 一 に

千仞の嶽	金華山	学海の波	荒くとも	国家の為に	明け暮れ学ぶ	百里の水	長良川	希望の岸	遠くとも	華陽の健児	心雄々しく	誇る最古の	歴史ある	我が高校の	誉れをば	奮へ 奮へ	百折不撓	つとめてやまず	挙げよ諸人	諸共に
------	-----	------	------	-------	--------	------	-----	------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	---------	-------	-----

岐高女校歌

一 ああすめらみ國 榮ゆるみ代に
われら起女 生れあひたる章
胸の鏡と 日々にあふく
教への道の 勅語

二 見よ稲葉山の 姿は高し
われら起女 高く心を保たむ
國の御為に 人の為に
力のかさり つくさはや

三 きけ長良川の 瀨の音は清し
われら起女 清く心とみかかむ
はけみいそしみ 探かたく
明るき微笑 うつくしく

姫小松

一 学びの庭の 姫小松
千代の標に たぐ(つ)
植ゑしその日のめぐりきぬ
いやや祝わん 諸共に

二 恵みのつゆに うろおいし
みとりゆかしき 姫小松
いよよますますしげ(つ)
千代に八千代にせかえなん

藍水くらぶ

高木 あい筆

姫小松(創立記念日の歌)

岐高女 校歌

まなび-の にわの ひめこまつ ちよのみ さをに
めぐみ-の つゆに うるほひて みどりゆかしき

あ あ す めらみく に さか ゆるみよ に わ
み よ い なばやま の す が た はたか し わ
き け な がら がわ の せ の と はきよ し わ

たぐへつ つ う-あし そのひの めぐり-きぬ
ひめこまつ い-よよ ますます しげる-べし

れ らを と めう まれあひ たるさ いは-い む ねの
れ らを と めた かくこころ を た もた-む く にの
れ らを と めき よくこころ を み が-か-む は げみ

いさや-い わはん もろとも に
ちよに-や ちよに さかえなん

か がみと ひびに あ-ふ-くおしえ のみ ちのみ ことの リ
み ために ひとの た-め-にちから のか ざりつくさばや
い そしみ みさお か-た-くあかる きえ まひう つくしく

「創造と躍動 NEXTSTAGE」

私たちの岐阜高校は、昨年、創立150周年という大きな節目を迎えました。

これもひとえに幾多の試練を乗り越えてこられた諸先輩方の

並々ならぬご努力の賜物と深く感謝を申し上げます。

私たち同窓生は、同じ学び舎で同じ時代を過ごしてきた仲間であり、

時に意見を交換し、時に意見を戦わせ、

互いの存在を認めながら自己形成に努めてきました。

これから歩む道も決して平坦とは限らず、

どのような時でも仲間との絆を忘れず、創造と躍動をキーワードに、

次のステージを力強く切り拓いていくという意味を込めて、

「創造と躍動 NEXTSTAGE」をテーマとしました。



もくじ

- 1 岐阜県立岐阜高等学校 校歌
- 2 岐阜女校歌 姫小松(創立記念日の歌)
- 3 「創造と躍動 NEX T S T A G E」
- 5 同窓会会長 遠藤宏治
- 6 岐阜県立岐阜高等学校校長 石田達也
- 7 運営委員会 会長 加納正嗣
- 8 総会・懇親会 式次第
- 28 昭和五六年卒 私たちの時代
- 30 恩師からの便り 小邑政明
- 32 同窓生の思い出 井藤正敏 山内光代 吉村知哲
- 34 平成三年卒 私たちの時代 堀 有吾
- 36 恩師からの便り

議案 規約

- 9 第一号議案 令和五年度事業報告
- 10 第五号議案 令和六年度事業計画(案)
- 11 第二号議案 令和五年度決算報告ならびに監査報告
- 12 第三号議案 岐阜県立岐阜高等学校 創立一五〇周年記念事業(GK一五〇) 事業報告、決算報告ならびに監査報告
- 14 第四号議案 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員(案)
- 15 第六号議案 令和六年度予算(案)
- 16 同窓会規約

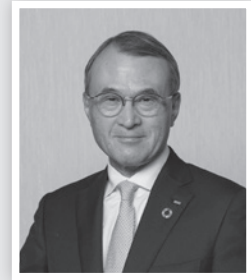
特集

座談会

- 17 唐沢理恵 福留朗裕 増田英明 加納正嗣
- 25 コラム 近藤惣一郎

- 42 恩師からの便り 高瀬昭範
- 44 同窓生の思い出 志賀友美 棚橋知子 佐藤正志 中西則文
- 46 岐阜高校だより 令和五年度 大学合格者数 同窓会運営委員会名簿
- 54 同窓会運営委員会名簿
- 56 応援団団歌 凱旋歌
- 57 会報協賛広告 令和六年度 岐阜県立高等学校同窓会総会出席者名簿 広告ご協賛のお礼・編集後記

令和6年度の通常総会開催にあたり



岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 遠藤 宏治

令和六年度の同窓会総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

コロナ禍以降、通常の総会開催は五年振りとなり、久しぶりに旧交をあたためる機会となりました。

昨年は、岐阜県立岐阜高等学校創立一五〇周年に同窓会の皆さまには、いろいろご協力、ご支援をいただき、ありがとうございました。

「Unleash Your Possibilities・岐高魂を世界へ解き放て」として、さまざまな事業を実行することができました。

グローバルリーダー養成事業、先輩諸氏の講演

会などこれからも同窓会として、生徒、学校に対しての支援は継続してまいります。

また、一五〇周年記念として新調した校旗も学校に贈呈をしました。

一五〇年の伝統と栄誉をひきつぎ、一六〇年、二〇〇年へとますます岐阜高校の名声が高まっていくことを、同窓生として期待しております。

今年度の同窓会の総会運営を担当していただいた当番学年の昭和五六年、平成三年、平成一三年卒業の皆さまには、昨年一〇月末の一五〇周年記念式典・祝賀会から、短い期間であったこと、

コロナ禍で運営の引き継ぎがなかなか難しかった中、大変なご苦労があったと思いますが、しっかりと挙行いただきありがとうございました。

最後になりますが、この総会をもちまして同窓会長の任期を終え、退任いたします。

任期中、とりわけ一五〇周年事業に関しまして、同窓会の皆さまには多大なご協力をいただきましたこと、深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

「同窓会総会」をお祝いして



岐阜県立岐阜高等学校長 石田 達也

令和六年度の岐阜高校同窓会総会が、遠藤宏治会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、本校創立一五〇周年の節目の年にあたり、同窓生の皆様から絶大なるご援助をいただき、多くの記念事業や記念式典、記念講演会を開催していただきました。この場をお借りしまして、GK一五〇実行委員会の皆様、幹事学年の皆様、そしてすべての同窓生の皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和五年一〇月二九日には、同窓生の皆様と全校生徒・教職員、あわせて約二千名の方々にご出席をいただき、長良川国際会議場にて創立記念式典が開催されました。当日は、舞台上の大きなスクリーンに映像が映し出されるなど、新しいスタイルで式典が進められ、司会者、書道部、音楽部、応援団など、生

徒の活躍の場も多くご用意いただき、在校生にとっても大変思い出深い式典となりました。

個人的にも、大きな会場の客席が同窓生の皆さんで埋め尽くされた光景は今でも忘れられません。また、同窓生の皆様の母校愛をひしひしと感じ、校長としても、同窓生の一人としても、大変幸せな時間を過ごさせていいただきました。改めまして、心より感謝申し上げます。

本校は現在、世界で通用するグローバルリーダーの養成を目指し、その方策として探究的な学びに力を入れています。国際交流や最先端科学の分野から講師を招き、校内で講演会や体験プログラムを実施しており、それを契機に各自が探究活動に取り組み、大学主催のコンテストに挑戦したり、「科学の甲子園」「模擬国連」等の全国的な大会で他校と競ったりして、大きな成果を挙げています。

加えて、今後は教育のDX化にも取り組み、遠隔配信による海外との交流、AIやアプリを

活用したビッグデータの解析等、デジタル分野の最新技術を授業に取り入れるとともに、教科を超えた文理横断的な学びにも力を入れていきたいと考えております。

さて、今年度の同窓会総会は、令和元年度以来、五年ぶりに通常の形で開催されることとなりました。同窓生の皆様には、人と人が対面し、言葉を交わし、心を通わせることの良さを改めて実感されることと思います。そしてこの機会を通して、皆様方の岐阜高校への思いを一層深めていただけることを存じます。

最後となりましたが、本年度の総会を運営されます加納正嗣運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和五六年、平成三年、十三年卒業の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

コロナ禍を乗り越えて、 五年ぶり通常開催の同窓会



令和六年度同窓会総会運営委員会 委員長 加納 正嗣

本日は、ご来賓、恩師の皆様をはじめ、大勢の同窓生のご参加を賜り、誠にありがとうございます。今年の同窓会総会運営幹事年の昭和五六年、平成三年、平成一三年の卒業生を代表して心より御礼を申し上げます。

また、同窓会報への広告協賛を頂いた方々や、協賛金をお送り頂いた皆様にも感謝を申し上げます。

さて、今年の同窓会テーマは「創造と躍動、NEXT STAGE」です。岐阜高校創立一五一年にあたり、伝統を大切にしながらも、それに縛られることなく、次のステージを創造し躍動していこうと考えました。

今年の同窓会は新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催となった三年間、昨年の岐阜高校創立一五〇周

年記念式典を経て、五年ぶりとなる通常開催の同窓会になります。準備期間も昨年一〇

月末の一五〇周年記念式典から七カ月と短く、さらに五年の間に印刷費・通信費とくに懇親会の食事代が値上がりしており、多くの困難がありました。しかしながら、多くの

同期の仲間と一〇年前の同窓会で活躍された平成三年の方たち、新たに参加頂いた平成一三年の方たちのサポートを受け、なんとか本日の開催に漕ぎつけることができました。とても、感謝しております。

準備を進めていく中で、多くの同窓生と関わり、岐阜高校同窓生の優秀さを感じました。先輩からは的確で有益な助言を頂き、幹事年は協調性を保ちながらも適切に行動し、てきぱきと諸事を段取り良くこなしてくれました。誇らしく

も頼もしい同窓会であることを再認識した次第です。

会報では文武両道を目指している母校の方針に沿い、バスケット部で活躍した三名の同窓生に集まって頂き座談会を開催しました。銀行頭取、映画配給会社とパーソナルデザイン会社の代表取締役の方たちのお話は興味深く、示唆に富む内容であったと思います。さらには、恩師の先生や幹事年の同窓生の文章などの懐かしい内容も掲載させて頂いております。

今回の同窓会が、久しぶりに会う同窓生との旧交を温め、今後のさらなる友情を醸成していく機会になることを祈念しております。どうか、楽しいひと時をお過ごしください。

令和6年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 総会・懇親会 式次第

令和6年6月2日(日) 会場：岐阜グランドホテル

1. 総会(11:00～11:40)

開会の辞

黙祷

同窓会会長挨拶 会 長 遠藤 宏治

学校長挨拶 校 長 石田 達也

議案審議

第1号議案 令和5年度事業報告

第2号議案 令和5年度決算報告ならびに監査報告

第3号議案 岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業(GK150)
事業報告、決算報告ならびに監査報告

第4号議案 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員(案)

第5号議案 令和6年度事業計画(案)

第6号議案 令和6年度予算(案)

感謝状贈呈

閉会の辞

2. 懇親会(11:55～14:00)

開会の言葉 令和6年度同窓会総会運営委員会 委員長 加納 正嗣

恩師紹介

アトラクション 歌 手 神谷 ひとみ(昭和56年卒)

乾杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会 長 尾関 良平

歓談

令和7年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 委員長 山田 秀夫 (昭和57年卒)

校歌斉唱

閉会の言葉 令和6年度同窓会総会運営委員会 副委員長 奥田 勝彦

以上

議 事

<第1号議案>

令和5年度事業報告

岐阜高等学校創立150周年記念事業

第1回役員会	4月20日	岐阜高校
第2回役員会	9月12日	岐阜高校
第3回役員会	1月31日	岐阜高校

<< 参考 >>

令和5年度 在京(首都圏)同窓会総会 7月2日 東京ドームホテル

<第5号議案>

令和6年度事業計画(案)

第1回役員会	4月23日	岐阜高校
同窓会総会	6月2日	岐阜グランドホテル
第2回役員会	9月10日	岐阜高校
基調講演会(同窓会主催)	11月8日	岐阜高校 講師：信田さよ子 氏 (昭和40年卒、臨床心理士)
第3回役員会	2月4日	岐阜高校

<< 参考 >>

令和6年度 在京(首都圏)同窓会総会 7月7日 東京ドームホテル

第2号議案 令和5年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	3,837,475	3,837,475	
同窓会入会費	1,059,000	1,050,000	@ 3,000 × 350名=1,050,000
特別会計から繰入金	600,000	600,000	
受取利息	50	29	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	5,496,525	5,487,504	

支出の部

役員会費	50,000	25,875	役員会(お茶代等)
慶弔費	50,000	0	
祝儀、餞別	200,000	50,000	在京同窓会祝儀
総会運営費	300,000	300,000	令和6年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	76,740	在京同窓会旅費
通信費	10,000	5,940	切手代、封筒代(事務局)
ホームページ関連経費	300,000	195,250	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	250,000	0	
手数料	10,000	550	振込手数料
校史資料室整備費	100,000	72,805	事務局整備費・卒業アルバム、学海
卒業記念品	0	0	
母校支援活動費	300,000	300,048	令和5年度学校祭諸経費
同窓会事務局運営費	600,000	494,177	事務局人件費、光熱費、借用料等
雑費	10,000	0	
次年度繰越金	3,216,525	3,966,119	
計	5,496,525	5,487,504	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	7,014,051	7,014,051	
十六FG株式配当金	700,000	965,308	株式保有数8,142株
受取利息	50	64	普通預金利息
計	7,714,101	7,979,423	

支出の部

一般会計繰出金	600,000	600,000	同窓会事務局運営費として
次年度繰越金	7,114,101	7,379,423	
計	7,714,101	7,979,423	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	10,673,177	10,673,177	
総会運営費繰入金	0	0	150周年の為
受取利息	100	89	普通預金利息
計	10,673,277	10,673,266	

支出の部

令和6年度総会運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	
振込手数料	550	550	
次年度繰越金	9,472,727	9,472,716	
計	10,673,277	10,673,266	

上記の通りご報告申し上げます。

令和6年3月31日

令和5年度岐阜高等学校同窓会
会 計 杉山 文康
会 計 早川 徹

上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

令和6年3月31日

令和5年度岐阜高等学校同窓会
監 査 瀬川 典秀
監 査 四ツ橋 憲彦



<第3号議案>

岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業(GK150)事業報告

岐阜県立岐阜高等学校は、1873(明治6)年に仮中学として開校され、2023(令和5)年には創立150周年を迎えた。これを記念して以下のとおり記念事業を実施した。

1 名称 岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業

- ・略称… 「GK150」(ジーケー・イチゴーマル)
- ・スローガン… Unleash Your Possibilities(岐高魂を世界へ解き放て)
- ・シンボルマーク



2 後援 岐阜県教育委員会

3 実行委員会

- ・準備及び運営は同窓会・P T A・学校で構成する「岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業実行委員会」が行った。実行委員長は遠藤宏治氏(昭和49年卒)が務めた。
- ・同窓会には、創立150周年記念事業幹事学年(昭和55年卒・平成2年卒・平成12年卒)が含まれる。

4 記念事業(祝賀会含む)の予算

- ・予算収入総額は、98,153,102円となった。内訳は以下。
 - ①同窓会からの拠出分(15,000,000) ②P T Aからの拠出分(10,000,000)
 - ③寄付金(66,113,102) ④会費収入(6,785,000) ⑤その他(255,000)

5 寄付金の募集結果

- ・クレジットカード、銀行振込による払込方法を採用。
- ・法人130件30,313,212円、個人1,189件35,799,890円、合計1,319件66,113,102円の寄付をいただいた。
- ・全寄付者のご芳名を記念誌に記載。個人2万円、法人5万円以上については記念誌を贈呈。個人10万円、法人30万円以上については銘板に記載し、岐阜高校校史資料室で掲示。

6 記念事業の内容

(1) 「グローバルリーダー養成事業」支援

社会の多様な場面でグローバル化が進む中、グローバルな視点をもって様々な分野で活躍できるリーダーの養成が求められている。岐阜高校の「グローバルリーダー養成事業」を長期にわたって資金面で支援し、「グローバルリーダー養成事業」に貢献する。

総額1,500万円とし、令和5年度に第一回助成を76万円行い、残額1,424万円を「グローバルリーダー養成事業特別会計」として同窓会が管理し、今後支援を続けていく。

(2) 「林間学舎リニューアル」実施

林間学舎(遊学館)が1968(昭和43)年に竣工して50年余が経過した。`岐高魂、の象徴とも言える林間学舎のリニューアルを行った。さらには、林間学舎がもつ役割の将来的な広がりとして、体験や交流を通して教育に使用される場となることを期待する。

食堂において、①気密性や断熱性を向上するサッシ工事、②壁の一部に無垢材を使用し木のぬくもり溢れる空間を演出、③世界とつながるインターネット空間創出のため大型スクリーンと音響設備、を整備した。

(3) 「記念式典・記念講演会」実施

記念式典と共に、在校生に対してグローバルリーダーとしての意識醸成につながる講演を実施した。

〔記念式典〕 2023(令和5)年10月29日(日) 9:30~10:55 長良川国際会議場さらさーら

生徒を含め1,783名の参加。書道部パフォーマンス、音楽部による国歌斉唱、挨拶、功労者紹介、来賓挨拶、アトラクション「150周年記念事業の軌跡」、生徒代表挨拶、校歌斉唱・応援団エールといった内容で、厳粛で簡素な中にも、感動あり、笑いありの充実した内容となった。

〔記念講演会〕2023(令和5)年10月29日(日) 11:10~12:30 長良川国際会議場さらさーら

講師：大栗 博司(昭和55年卒) 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構機構長

テーマ：人生で大切なことは岐阜高校で学んだ

生徒を含め1,817名の参加。日本・アメリカでの研究活動や内容に触れながら、岐阜高校で学んだことやキャリアの選択について語られた。そして身近なテーマから宇宙の誕生についてご紹介され、「岐阜高校は世界への窓を開き、私を自由にしてくれた」という言葉で締めくくられた。

(4) 「親善野球大会」実施

- ・対戦校… 青山学院高等部(岐阜高校と並んで最古の高校野球部)
- ・期日と会場… 2023(令和5)年5月21日(日) 10:00~(有観客) 岐阜メモリアルセンター長良川球場
- ・古田知事・柴橋岐阜市長の臨席も賜り、晴天の中、8-3で岐阜高校が勝利した。

(5) 「記念誌」発行

A4無線綴じ上製本冊子、ブックケースあり、288ページの記念誌を2,700冊作成した。

内容は、導入部(校歌、校旗、校舎遠景など)、挨拶、周年事業紹介、歴史、特集座談会「岐高魂を世界へ解き放て」、資料編、寄付者一覧、あとがき、などで構成した。

式典・講演会の様子を掲載し、速やかに発送した。

また、岐阜高校の過去のエピソードを記載した「古往今来(A5中綴じ冊子32ページ)」1,870冊も作成した。

(6) 「岐阜高校向け記念品」寄贈

岐阜高校卒で東京大学名誉教授であり、現岐阜高校校舎の基本設計者である大野秀敏様に依頼し、「これまでの150年・これからの150年」と題したモニュメントを制作し寄贈した。

9/26に除幕式を行い、プロムナードの北から南に設置されたモニュメント(照明付)16基が披露された。

また、岐阜高校「校旗」を新規に制作し寄贈した。

(7) 特別展「岐阜高校の歴史を振り返りつつ」の実施(岐阜高校主催・同窓会協力)

在校生及び同窓生の作品(絵画・彫刻・書・写真等)を中心として展示し、合わせて創立150周年を記念し歴史を振り返る展示も行った。(岐阜県教育委員会 後援)

・会期：令和5年7月13日(木) (準備日)、14日(金)~23日(日) (14:00~18:00搬出)

・会場：岐阜県美術館県民ギャラリー

美術・書道・写真・文芸部生徒の作品150点、卒業生作品、旧校舎にて使用されていたもの、学校所有の熊谷守一「椿」など合計約200点を展示し、1,151人の来館者を迎え入れ、大変賑わいのある特別展となった。

(8) 「生徒向け先輩講演会」実施

6/9、7/6、9/28の3回、生徒向けに先輩講演会を実施した。

統一テーマ 「Unleash Your Possibilities(岐高魂を世界に解き放て)」

講師 ①国立国際医療研究センター病院 理事・病院長 杉山温人氏(S50年卒)

②独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 理事長 細野哲弘氏(S46年卒)

③国際連合監査部 監査役 石井久哉氏(S49年卒)

(9) 同窓会事務局の設置

岐阜高校の校史資料室に同窓会事務局を設置した。

(10) その他事業

- ・期間中にGK150のWebサイトを作成し情報発信をした。
- ・式典・祝賀会案内状送付のタイミングに合わせ、6/23に新聞広告でGK150の案内を行った。
- ・同窓会Webサイトのリニューアルを行った。
- ・同窓会管理の「卒業生データベース」のリニューアルを行うとともに、「個人情報保護方針」を策定した。

7 記念祝賀会

・期日：2023(令和5)年10月29日(日) 13:00~15:00

・会場：都ホテル岐阜長良川

699名の参加。想定以上の参加者数で、メイン会場とサブ会場2会場での開催となり、盛況となった。

8 記念事業(祝賀会含む)の決算

・予算収入総額に対し、祝賀会会費収入と雑費で差額が発生し、決算収入総額が98,318,731円となった。

・決算支出総額が85,342,911円となり、繰越金が12,975,820円発生した。

・繰越金は「母校支援特別会計」として、同窓会が管理し、学校の支援要請に対し拠出をしていく。

第3号議案 岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業(GK150)決算報告

自 令和4年4月 1日

至 令和6年3月31日

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
岐阜高校同窓会 周年記念拠出	15,000,000	15,000,000	
岐阜高校同窓会 事業運営費	300,000	300,000	
岐阜高校PTA 周年記念拠出	10,000,000	10,000,000	
岐阜高校創立150周年記念 寄付金	66,113,102	66,133,102	
祝賀会会費収入	6,640,000	6,785,000	
岐阜県高等学校長協会周年補助金	100,000	100,000	
雑収入	0	629	預金利息
計	98,153,102	98,318,731	

支出の部

「グローバルリーダー養成事業」の支援	15,000,000	15,000,000	本年度760千円を支出し、残金の14,240千円は「グローバルリーダー養成事業特別会計」に繰入
林間学舎リニューアル事業の実施	10,000,000	9,465,200	
親善野球大会の実施	2,000,000	1,994,229	
記念誌の発行	12,000,000	11,880,000	記念誌、古往今来
岐阜高校向け記念品の制作・寄贈	15,500,000	14,248,896	モニュメント、校旗
特別展「岐阜高校の歴史を振り返りつつ」の実施	2,700,000	1,176,620	校史資料整備含む
生徒向け先輩講演会	300,000	64,320	
記念式典、記念講演会、記念祝賀会設営費	17,000,000	15,413,549	会場費、会場設営費、通信費、記念品費
記念祝賀会飲食費	6,640,000	6,631,413	
同窓会事務局設置および150周年事務局運営費	2,000,000	173,278	設置費、周年事務局運営費
寄付金募集費	5,000,000	4,796,117	寄付金募集新聞広告、寄付金募集システム運用費
広報費、名簿管理システム新規構築費	5,000,000	4,114,000	告知新聞広告、名簿管理システム新規構築、GK150Webサイト・同窓会Webサイト新規構築
反省会費	300,000	300,000	幹事学年
諸経費	1,000,000	85,289	振込手数料等
予備費	3,713,102	0	
繰越金	0	12,975,820	「母校支援特別会計」に繰入
計	98,153,102	98,318,731	

上記の通りご報告申し上げます。

令和6年3月31日

岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業実行委員会

総務部会 世話人 杉山 正裕

財務部会 世話人 杉山 文康



上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

令和6年3月31日

岐阜県立岐阜高等学校創立150周年記念事業実行委員会

監査 瀬川 典秀

監査 四ツ橋 憲彦



＜第4号議案＞
岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員(案)

名誉顧問	古田 肇 (昭和41年卒)	
顧 問	杉山 幹夫 (昭和20年卒)	野々垣 孝 (昭和31年卒)
	森川 幸江 (昭和40年卒)	水谷 邦照 (昭和41年卒)
	木方伸一郎 (昭和46年卒)	* 遠藤 宏治 (昭和49年卒)
名誉会長	石田 達也 (昭和57年卒)校長	
会 長	* 村瀬 幸雄 (昭和50年卒)	
副 会 長	松波 英寿 (昭和50年卒)	神谷真弓子 (昭和51年卒)
	杉山 文康 (昭和54年卒)	伊在井みどり (昭和54年卒)
	佐伯 淑子 (昭和55年卒)	早川 徹 (昭和61年卒)
	國井 重宏 (昭和61年卒)	伊藤 知子 (平成5年卒)
	* 瀬川 典秀 (平成8年卒)	* 四ツ橋憲彦 (平成13年卒)
会 計	早川 徹 (昭和61年卒)	* 國井 重宏 (昭和61年卒)
監 査	* 馬場 美穂 (平成元年卒)	* 後藤栄一郎 (平成5年卒)
	* 三浦 陽平 (平成8年卒)	

*の方は新任の候補者です。その他の方は再任候補者です。

第6号議案 令和6年度岐阜高等学校同窓会 予算(案)

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

【一般会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	3,966,119	
同窓会入会費	1,065,000	@ 3,000 × 355名
特別会計から繰入金	600,000	
受取利息	50	普通預金利息
雑収入	0	
計	5,631,169	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀、餞別	200,000	在京同窓会等
総会運営費	300,000	令和7年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	在京同窓会出席者旅費等
通信費	20,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	100,000	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	250,000	管理料、登録・修正更新作業費、管理PC更新積立
校史資料室整備費	100,000	資料整備用品等
卒業記念品	0	(令和4年度に3年間分購入済み)
同窓会事務局運営費	600,000	事務局人件費、光熱費等、事務局スマホ代
雑費	20,000	振込手数料ほか
次年度繰越金	3,841,169	
計	5,631,169	

※ 一般会計での科目間流用を認める

【特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	7,379,423	
十六FG株式配当金	700,000	株式保有数8,142株
受取利息	50	普通預金利息
計	8,079,473	

支出の部

次年度繰越金	7,479,473	
一般会計繰出金	600,000	同窓会事務局運営費として
計	8,079,473	

【総会特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	9,472,715	
令和6年度総会運営費繰入金	1,200,000	
受取利息	100	普通預金利息
計	10,672,815	

支出の部

令和7年度総会運営費繰出金	1,200,000	
振込手数料	550	
次年度繰越金	9,472,265	
計	10,672,815	

【グローバルリーダー養成事業特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
創立150周年記念事業より	14,240,000	令和5年度に760千円を助成済みのため
受取利息	120	
計	14,240,120	

支出の部

グローバルスタディーズプログラム参加者助成	1,000,000	50名分助成 @¥20,000/人
次年度繰越金	13,240,120	
計	14,240,120	

【母校支援特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
創立150周年記念事業余剰金より	12,975,820	
受取利息	100	
計	12,975,920	

支出の部

母校支援活動費	300,000	予備費を含む
次年度繰越金	12,675,920	
計	12,975,920	

岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第1条** (名称)本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第2条** (目的)本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第3条** (組織)本会は次の会員を以て組織とする。
- 正会員
 - 岐阜県岐阜中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
 - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
 - その他理事会の議を経て、会長の承認した者
 - 特別会員 現職員・旧職員
- 第4条** (役員)本会は次の役員をおく。
- | | | |
|---------|-----|--------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 理事会に於いて推挙する。 |
| 名誉会長 | 1名 | 母校校長 |
| 会長 | 1名 | 総会に於いて選出する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会に於いて選出する。 |
| 監査 | 若干名 | 総会に於いて選出する。 |
- 第5条** (役員の仕事)役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・理事会・幹事会を召集し、その議長となる。
 - 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは代行する。
 - 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
 - 監査は会計を監査する。
 - 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第6条** (役員の仕事)役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条** (総会)本会の目的を達成するため、毎年1回総会を開く。
- 但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第8条** (入会金)正会員は入会金を納入する。
- 第9条** (経費)本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第10条** (会計)会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第11条** (支部)本会には支部を設けることができる。
- 第12条** (同窓会事務局所在場所)岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。
- 事務局には、若干名の事務局員をおくことができる。

(令和4年6月5日 一部改訂)

Spring Talk in Marunouchi

2024年2月15日午後 三井住友銀行本店にて

座談会参加者(敬称略)

唐沢理恵、福留朗裕、増田英明、加納正嗣(司会担当)

20世紀FOX等で映画配給、製作を経験し、2015年エレファントハウス代表取締役、2020年新たなチャレンジとしてラビットハウスを設立。2024年には子供たちの情報リテラシーを育むプロジェクトとして一般社団法人キッズインシネマを設立し理事に就任。

増田 英明

三井住友銀行頭取CEO。1985年一橋大学卒、三井銀行(現三井住友銀行)入行。国際金融畑を長く歩み英国や中国、米国などに駐在。トヨタ自動車常務役員を経て2021年三井住友銀行専務執行役員。2023年より現職。

福留 朗裕

加納 正嗣

令和6年度岐阜高校同窓会運営委員会委員長・あかなベキッズクリニック院長

唐沢 理恵

お茶の水女子大学卒業後、ノエビアに入社。1994年32歳で同社初の女性取締役就任、マーケティング部門を担当。2000年同社取締役を退任し、(株)パーソナルデザインを設立。政治家・経営者のヘアスタイル、服装、話し方などの自己表現を指南。大垣市議会議員。

▼バスケットボール部の思い出

加納 今回は、バスケット部関連の者で偶然集まりました。

私は途中で去ったのですが、三人は最後まで部活を続けられたと思います。

福留 我々の時代は、大竹先生のあと、夏目先生が県岐商からやってきてさらに強くなったんだよね。

増田 男子バスケット部員は四人だったんだよね。バスケットは五人制なのに。

福留 最初に入った時は五人くらいいたんだけどね。

五つの高校でリーグ戦をするやつってなんて言ったんだっけ？

増田 五校リーグだったかな。

(※五校リーグとは、岐阜・加納・岐山・岐阜北・長良によるリーグ戦)

福留 男子バスケット部は辞めちゃった人が多かった割には結構いいメンバーだったんだよ。下級生にすごく良い選手が二人くらい入ってきたんだよね。最後の県大会で強豪の岐阜農林に負けはしたものの、すごくいい試合だったんだよ。スコアは九〇対七〇くらいだったが内容は大善戦だった。

唐沢 男子バスケット部は強かったね。女子はそんなでもなかったかな？



福留 男子バスケット部は夏目先生と、あと下級生にいい選手が入ったことが強くなった理由かな。

一つ下の学年の杉山君ともう一つ下の林くんが良かったんだよ。一九〇cmくらいあって俊敏に動けたんだよ。

唐沢 隣同士で練習していたけど、全

然覚えていませんね、、、笑

増田 岐阜農林は最初は二軍が出てくるんだよね。

我々は二軍には負けてなくて、スコアで有利になると一軍が出てきて、相手は休憩して万全な状態で出てくるわけで、そこに疲れ気味で対戦する。そんな試合だったね。

な試合だったね。

加納 (スラムダנקの)山王工業高校のモデルの能代工業高校みたいだね。

増田 リバウンドボールを掴もうとゴール下に飛び込んでジャンプするじゃないですか。そうすると次の瞬間、気づいたら床に寝ているんですよ。完全に弾き飛ばされちゃって。

福留 それ、覚えている。スラムダנקみたいだったよね。

▼海外でのアイスホッケー

増田 バスケの話もいいんだけど、福留さんのアイスホッケーの話がすごく聞きたいんですよ。

高校を卒業した後に出会った時に、「歯が折れるなんてよくあるんだ。」って言ってたでしょ。それって大変なことじゃないですか。

社会人になってからも京都のチームでやっていったって聞いた事があるんだけど。

福留 アイスホッケーのチームには、京都、東京・・・あと、香港でもニューヨークでも入ったね。

増田 ニューヨーク！まさに本場じゃないですか。



唐沢 やっぱり本格的？

福留 ニューヨークでやってた時が一番楽しかったね。

本格的だし、リンクが近くて、昼間でも夕方までできるんだよね。

日本だと一般向けの営業時間が終わった夜中にしか練習できないから。

唐沢 どうしてアイスホッケーをやる

うと思ったの？

福留 一橋大に入ったときにバスケのチームを見学しに行ったんだけど、一九〇mくらいの先輩が自分と同じポジションのポイントガードをやっているのよ。

「あ、これでは話にならないな」って。けどどなかスポーツをやりたいと思って、冷静に自分が活躍できるス

ポーツはなにか考えたんです。それが素人が多いスポーツであるアイスホッケーだったんだよ。

増田 さすが。昔からいろいろ分析してたよね。

加納 僕も大学で、フィールドホッケーをやっていたんだけど、同じ理由です。

増田 やり続けられるってことが、素晴らしい。

福留 そこはたまたまだけど。いろいろな国に行ってもチームに入れたし、最後はSMB Cカナダの社長としてアイスホッケーの本場であるカナダに赴任することになり、縁を感じましたね。

増田 完全に本場だなあ。

福留 大学の卒論も、北米経済統合って言って、「アメリカとカナダの自由貿易協定」といった卒論を書いていて、人生っていろいろ繋がってくる、すごい経験もしましたね。

増田 アイスホッケーでつながっていったんだ。

どうしても怪我をしてしまうと思うんだけど、仕事には影響しなかったの？

福留 結構すごい顔をして会社に行ったりしたね。歯が折れたまま営業に出

かけて。お客さんにギョツとされたこともあったよ。

でもね、北米で取引先の白人のお客さんと話すときに、「アイスホッケーをやってるんだ」って言ったらすごく受けがいい。

アイスホッケーの話題でアイスブレイクはオッケーっていうか、「え？日本人でやってる奴いるの？」っていう反応がほとんどだったよ。

▼映画配給について

加納 高校の頃のバスケットの話も然ることながら、高校での勉強や経験が社会で役に立った話はいかがでしょうか？

増田 君も外国の人たちといろいろな交渉をして、日本の映画の興行権を買ってきたりしているわけじゃないですか。

増田 銀行とはレベルが違うと思うんです。こちらはお金を出すほうで、いい加減な英語でも向こうが聞いてくれる。

福留 そのお金はどうしてるの？

増田 三井住友銀行からお借りしたいと思ってるんですけど(笑)

実際の話、ビジネス規模がそんなに大きくないから、自己資金でやっていきます。



全員 できるんだ。すごいね。

増田 ホント大したことないです。

海外作品の映画配給は、これから増やしていこうと思ってるのですが、邦画に関しては、企画を創るプロデューサー、お金を集めるプロデューサー等、撮影現場を仕切るプロデューサー等、

役割がわかれていて、私はお金を集めるのはあまり得意ではないので、笑。企画や脚本に口を出したり、公開までの配給調整を行ない、ある程度、結果を出してきたので、お金を預けていただけになりました。

福留 資金のリスクは自分で持ってな

いんだね。

増田 大きなリスクは怖くて……。

福留 リスクがある商売だもんね。

増田 本当に水商売。

映画館って、年間で、たかだか二〇〇〇億円のマーケットなんです。日本人が映画館に年間で払うお金ね。

福留 二〇〇〇億円しかないの？

増田 そう。それくらいのマーケットなんです。ただ、実際その後でビデオになったり、配信に売ったりする別のマーケットはあるんだけど。

福留 大ヒットして二〇〇億円とかいってるもんね。

増田 そう。そんなレベル。

だから僕らが細かくやっていたら、例えば僕が最初に手掛けた映画『あん』(http://an-movie.com)っていう樹木希林さんの映画は、五億五千万円いっちゃったんです。

そしたら配給手数料だけで、五千万入っちゃう。

コンパクトな会社で自己資金でやっているから、そのあとしばらくは安泰なわけ。

だからそんなレベルのビジネス規模な

んですよね。我々。インディペンデントの映画業界は。

加納 今日の夜便でベルリン国際映画祭に行くんですよ？

そうすると向こうで当然いろいろな人と英語を話すわけですよ？

増田 でも僕は留学経験がないので、基本的にものごくプライマリーな英語です。

加納 プライマリーな英語だとしても、岐阜高で英語の勉強って何をやったかよく覚えていないな。でも高校の勉強で語彙力だけはついたよね。単語を一生懸命覚えたから。

増田 英語は担任の太田先生でした。ちゃんと勉強しておけばよかったなって反省しております、苦笑。

毎回授業の最初に一〇点満点の単語テストがあったんだけど、たまに満点になると、太田先生から、赤ペンで「Congratulation, っ」書いてあるぐらいい、普段は出来ない生徒でした。

高校の時に何が役立ったかみたいな話が冒頭にありましたが、私は偶然というかラッキーというか、岐阜高校に入ることが出来て、周りが優秀な人ばかりだったから、卒業しても周りの人達の情報が入ってくるし、道を間違えずになんとか生き残ってこられたのだと思います(笑)

▼人脈、ビジネス

加納 ビジネスの世界で、岐阜高校でよかったことはありませんか？

唐沢 私の場合は、人脈ですね。

本当にみんな優秀な人ばかりで。東京の大学に行って卒業して、東京で就職して、ノエビアで役員になってから、在京岐阜県人会によく行くようになって、そこからの繋がりが結構大きかったですね。

あの頃、当時の梶原拓知事や古田肇知事とよくお会いしました。お二人は岐阜高校出身です。また、企業の役員クラスの人たちが岐阜高校の出身なので、私が仕事をするうえでプラスになりました。

加納 唐沢さんにお話をうかがいます。

最近の若者は、おそらく終身雇用制をあてにしていなくて、当たり前にかンドキャリアのことを考えているんだと思うんですけど、唐沢さんは三十代で、ノエビアの取締役になって、そのまま在籍していれば、ノエビアの出世路線をいくらでも行けそうなポジションにいらしたと思います。

それを辞めて、ご自身で仕事を立ち上げて、今の仕事をやっているという。なぜそのようなセカンドキャリアに進むことを選択したのでしょうか？

唐沢 三二歳で役員になったのはいい

のですが、その若さで役員になるっていうのは会社の戦略でもあったわけですよ。女性を大抜擢するという。

会社四季報にその会社の家族以外の女性の名前が掲載されることが珍しい時代だったのですが、ある意味では、役員になるのが若すぎたのかもしれないですね。

在任中、海外での商品開発を行って、「メイドイン〜」という商品を投入したんです。それまでのノエビアでやったことがないようなことをやって、売上げに寄与したんですけれど、あるとき「唐沢さんは取締役なので、あまり自分で海外に行ったり、リスクなことをバンバンやらしないで、落ち着いて東京にいてください」とみたいなことを言われたんですよ。

福留 なんてだろう。古い考え方だね。

唐沢 そう、古いわよね。その後は、海外出張は部下の人たちにお任せして、ある種、経験を積めたから、それはそれでよかったんだけど、やっぱりね、グラスシーリング（※組織内において、能力があり、成果を出しているにもかかわらず、性別や人種などを理由に昇進できない状態はあるわけです）。

女性ならではのことはやったけれども、そこから先に行くのはどうなのかな。でも三〇代だったし、もっとワクワクする面白いことをしたいな、いろんな



ことをやりたいなと考えて、子会社を作りたいと思ったんです。

女性を美しくするということはやってきたけれども、ノエビアとしてリーダーたち、世の中の政財界のリーダーたちを美しくするということをしてはどうかと考えたんです。

福留 イメージコンサルティングだね。弊社も一部の役員が研修を受けることがあるんだけど、そういう仕事だよな。

唐沢 そうそう。そうこうしているうちに、出資してくれる人も出てきたんですよ。

私は三二歳の若さで役員になってし

まったから、最初は財務諸表もあまり読めない状態でした。

そこで勉強しなければと思って、早稲田大学でMBAを勉強し始めた。

そこで学んだのがコーポレートベンチャー論。会社の中で起業するための勉強だったから、色んなことを考えた。そのうちのひとつが会社のV・I・Pの見たい目を磨くビジネスだったけど、なかなか会社は動かない。

すると、お金を出してもいいという人が出てきたんで、自分でやっちゃったという感じですね。三八歳の時。バイタリティの塊だったんでしょね。笑

福留 人に任せるより自分がやりたい人だよな。

唐沢 人に任せるのも好きですよ。だけど、任せる時にはバーンと任せちゃう。

自分の部下を崖から突き落とすタイプかな。笑。そういう感じなので、育つ人はやけに育つけれども、つぶれる人もいるかな？

組織はなかなか難しいですよな。

なので、企業内起業より独立して自分でやった方がいいかなというのがその時の判断ですね。

福留 世の中では、やはりグラスシーリングがあるものなの？

唐沢 日本では女性役員比率が今頃話

題にあがっているからね。ノエビアはめちやくちや早かったよな。とにかくシーリングを壊してほしいです。我々もサポートしないよな。

私が社会にいて、絶対おかしー！と思うことは、前例がないからって言う言葉。前例がないからできないって言われた瞬間にもう暴れたくなるんですよ(笑)

福留 君は、御社の中ではどちらかというところ、改革派でしょ？

福留 自分のことを改革派という人はあまりいないと思うけど、僕は多分そっちな。

そうじゃないと、生きていけないくらい金融機関をとりまく環境も変わっている。当然、銀行もね。慣習や慣例にとらわれずに変わっていかないとあつという間に他業種のプレーヤーやスタートアップ(※革新的なビジネスモデルを考え、新たな市場を提供することで、短期的に事業価値を高めて成長する企業のこと)にビジネスを取って代わられてしまうという危機感がありますね。

加納 今回の同窓会は、コロナの三年間と一五〇周年もあり、通常開催が四年間なくて、五年ぶりの通常開催での同窓会になるんです。

ちなみに今回の同窓会のテーマは、「創造と躍動 NEXT STAGE」と題しています。

今回、本部長から話があった時に、五年前のことを参考にしているけど、だいぶ世の中は変わってしまっているし、次の段階・ネクストステージでやっていこうと思っているので、過去のことではなくて、これからどういう風にしていこうかっていう話がありました。

福留 この前やったのは、通常同窓会じゃないんだ。

加納 あれは一五〇周年で通常開催ではないんです。だから特別に寄付とかも募って豪華だったんです。

▼ゼロからものを作り上げる

唐沢 でもなんかほら、ゼロからものを作り上げるっていうので言うと、増田君がやってる仕事なんかもある種、そつじものじゃない？

今までなかった作品を作って、それで世に出していくわけでしょう。

増田 今、唐沢さんの話を聞いて思ったのは、僕は人に任せるより、自分が面白そうだなって思ったら自分自身でかなり細かく最後までやりたがる人なんだなということでした。

加納 シナリオを評価するようになってもやってるんだっけ？

増田 あれはね、もともと20世紀フォックス

クスというハリウッドの映画会社にいた時に、邦画を作ろうってことになつて、シナリオアナリストの資格を取る講座に通ってました。

加納 そつじものを見て、今の仕事に繋がっているわけですね。

増田 そつじですね。

さっきアイスホッケーのおかげで繋がりができた話があったけど、私も人間的なネットワークのおかげで、ありがたい話が舞い込んでくるので、今の自分があると思います。

唐沢 今何か作ってるの？

増田 いろいろ企画があるのだけど、邦画に関しては、プロジェクトを依頼されることが多くなってきていて、お付き合いで引き上げることがあるのですが、洋画の買い付けは、自分の好きなものを買えば良いわけで、マーケットは大きくないけど前向きに進めようと考えています。

唐沢 ワフワフしていることがいいですよな。

増田 気持ちだけはいつでも青春だよな、、、笑。



▼若者たちに贈る言葉

加納 今の話の中にもセカンドキャリアの話もありましたが、まとめとして若者たちに贈るメッセージをお願いします。

唐沢 私は今の仕事をされていて、いろんな会社のトップの人たちや政治・財界の人とも接している時にすごく思うのは、人前で話すことが苦手な人が多いこと。

残念なことには記者会見にしても何にしても秘書が書いた原稿を読み上げる方が多いですね。

原稿を読み上げるとしても上手に読み上げてくださればいいんだけど、棒読みの方がすごく多い。

もともと私がこの仕事をはじめたのは、これからは、日本人が世界のリーダーになっていく必要があると思ったから。そのためには、リーダーとして必要とされることのひとつは、プレゼンテーションやスピーチ力だと思っんです。なので、私は若者たちに期待するのは、人前で話をするこの経験なんですよね。

社長になると慣れてきます。だんだんと笑顔もすごく上手になりますよね。人前で話すことをどんどんやってほしい。

岐阜高校の卒業生はこれからどんどん活躍するでしょうし、その中で躊躇せず人前で表現豊かに自分が言いたいこ

と・意見をしっかりと伝える。前例主義だと「おっしやる通り」となってしまうので、若者たちがこれから社会に出ていったら、自分の意見をしっかりと伝えるようになってほしいと思います。

加納 福留さんお願いします。

福留 僕はね、同じようなことを聞かれるので必ず言っていることがあって、「若いうちは、回り道をしてください。」と、伝えています。

特に最近の若い人は、自分のキャリアのピークをものすごく手前に置いている気がしています。もちろん僕がそう思っているだけかもしれませんが。

「とりあえず、これってという目標を持っていての方が多くて、それに一直線に行こうとするんだけど、世の中や人生って、自分でコントロールできない大きな波がいっぱいあるので、そういう波を楽しみながら、いろいろな回り道して、楽しい人生を歩んでほしいと思います。」

増田 自分もそうだったの？

福留 まあそつだよ。

増田 高校の時から「海外に行って仕事をやる！」って言ってたから、全然「ブ」してないなと思ってたの。今、日本人で、ブれてないのは大谷翔平か福留朗裕かって、思っていましたよ、笑

唐沢 あと将棋の藤井聡太八冠、笑

加納 若者が挫折した時にすぐ諦めるのではなくて、ちょっと遠回りしてもいいから……

福留 挫折する時間も楽しむものだったということだね。

唐沢 私は思うんだけど、福留さんみたいにブレていない人だからこそ、結局回り道をされるんですよ。結局人は自分を変えていったらいいだけだから。ただブレない人は、こうならざるを得ないでしょうね。

福留 コントロールできないことがいっぱいあったでしょ。

全員 あるある。

福留 それが前提で回り道しながら楽しみながら歩いてほしいなと思う。若い人に言うならね。

唐沢 でも回り道って楽しいですよね。ワクワクする。

加納 予定通りじゃないけど、なんとかまた元の道に戻る。どうしたら戻るか、明日また頑張ろうとかね。

加納 では、増田さんも。

増田 いやいや、私はある意味ブレブレなんです。

何となく生きてきたのか、ブレて彷徨ってたのか、分からないんですけど、結局、いろんなことを肥やしにするぞという意識があって、経験だけはいろいろ積もうと思っていたので、そこが良かったんだろうなと思います。最初に話したんですけど、岐阜高校の卒業生や同級生が皆、まわりで頑張っているから、僕も負けちゃいかんという意識がありました。

加納 増田君は、高二の時の同級生だ

よね。

高三の時に、二年の時の「二組」の仲間を集めて、舞台演劇をやってくれて、僕が一応表向きの責任者としてやっていたので、見てただけで、男子クラブだったのに、なぜか女子も含めて手伝ってくれる人が増えていった。その時にやっていることと今の仕事、まさに同業種で、大学になってからも、実は、私、岐阜大学の医学部の生協の前の自販機の前でジュースを飲んでる時に、増田君は当時、隣の建物の岐阜県の外郭団体的なところのイベントのことをやってたんだよね。

増田 その後、二五歳で東京へ出ていっ

たんです。

加納 本当にたたき上げで、現場からとにかく地道に積み上げて、今のところに来ているから、言葉に重みがあるなど、私は思ってた聞いてました。

唐沢 言い忘れていたことがありまして、付け加えて言うと、日本人って戦後、「みんなと同じ格好をしていればいい」というように、没個性になってきてるんですよ。でもそっじゃなくて、「自分がしたい格好をしようよ。自分の個性をちゃんと表そうよ」とって言いたいですね。

一般的にイメージコンサルはアメリカ流で、私は独自の日本流。アメリカ流との違いは、内面重視で型にはまらず、ヨーロッパ的なんです。江戸時代の装いは粹でしたよね。裏地の柄で楽しむとか。とにもかくにも、変な格好をしても若いうちは若気の至りで許されちゃう。

でも歳をとって変な格好では許されない。歳をとってこそ素敵になるために、失敗もあるかもしれないけれど、若いうちにその時だからこそ許されるいろんな格好をして、自分の個性をいろいろ表現して欲しいです。

だから私は格好だけでなく全てにおいて、前例主義ではなく、自分のやりたいことをやって欲しいと思います。



自分探しの道



近藤惣一郎

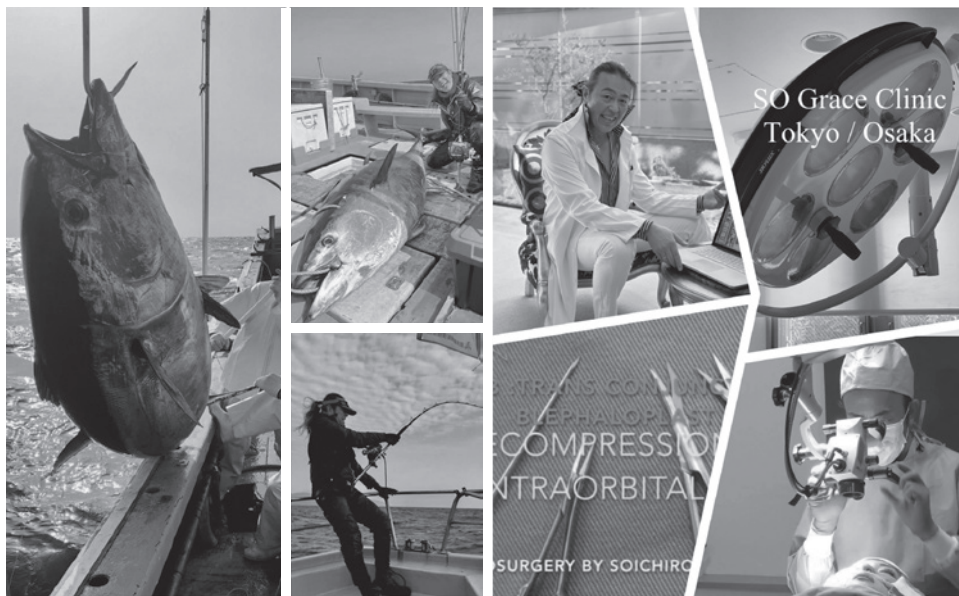
昭和五六年岐高を卒業し四〇余年の歳月が流れました。その間、同窓会出席はおろか、故郷の岐阜にほとんど帰ることもなく生活しております。私のような者に同窓会会報のコラム寄稿の依頼をいただけることに恐縮すると共に深謝し人生の歩みを振り返りつつコラムを書かせていただきます。

高校時代はたった三年でも大学進学を含め、人生にとって大切な三年であったと思います。岐阜高校に入学し、諸先生や同級生の皆さんと出会い、学びを受けたことが今に繋がっていることは間違いありません。故郷を遠く離れても、信長や道三と同じく金華山山頂から眺めた濃尾の光景は百折不撓の精神と共に常に私の心の中にあります。

私は卒業後京大医学部に入学し、脳神経外科医となり、専門医として脳卒中や外傷、脳腫瘍の臨床に勤しみ、京大大学院でも膜下出血の

原因となる脳動脈瘤の病理発生を研究し博士号を取得しました。しかし脳外科医を二〇年勤めた四四歳の時、美容外科医に転身し四七歳から東京と大阪に自らの美容外科クリニック・SOGグレイスクリニックを創設開院し、今年で美容外科医として一七年目になります。また本業とは別に大手フィッシング総合メーカーDAIWAの沖釣りプロアングラーとしてマグロ・カンパチ・ヒラマサなどの大物をターゲットに二〇年ほど活動させていただいております。海釣りをされる方ならその分野での私の活動をご覧になっている方もいらっしゃると思います。更にダンサーとしても活動し、その日常はインスタグラムでアップしております。

美容外科医に転身してからは、私の経歴やマルチ性、外見・キャラクターが注目され「ロンリー侍ドクター」として、私の生き様や私の美容医療がTV・メディアにとりあげられることも重なり、大組織に属さず医師



一人で行っているにもかかわらず、自由診療の美容外科という厳しい業界で、顔の若返りに特化した全国区クリニックとして東京品川本院、大阪江坂院の二つのクリニックは二〇一〇年から継続できております。



高校時代の同級生の皆さんなら私が京大に進み、脳外科医になるまでは「いつも親単片手に勉強熱心で真面目だった近藤君らしい…」そんな印象を持たれたと思います。ところがその後、東京で美容外科医として生活する姿をTVやネットでご覧になると「昔は真面目だったのに、変わってしまった、どうしたのだろう?」と、私が別の人間になってしまったかのように感じられている方もいらっしゃるかも知れません。

しかし、私はまったく変わっていません。高校の時の私も、脳外科医の私も、美容外科医の私も、釣り人の私も、ダンサーの私も、ずっと変わらず近藤惣一郎のままなのです。私のことをご存じない同窓生の皆さんは勿論、同級生の皆さんにも、今回のコラムで、私という人間が何を考え、どう生きてきたか。孤独を恐れることなく自分を探し求めている私の人生と私が行っている美容外科を

このコラムでお伝え出来たらと思います。

私は子供の頃から人に喜んでもらうことが大好きな人間でした。サービスピ精神が旺盛な人間です。注射や手術といった医師しか出来ない行為で患者さんの笑顔を創る医師という職業は、そういった意味では私には天職だと思います。ただ一般の方は勿論、医療従事者・関係者であっても脳外科と美容外科は全く異なった医療だとお考えの方も多いかも知れません。

しかし、私は転科する前も、そして今でも、両者は同じものだと考えています。違いは脳外科を含め一般医療は病気やケガを治すもので、美容外科は病気ではない患者さんの顔や体の悩みを治すという点です。そしてそれに伴い治療費が一般医療は七割が公費で補われるのに対し、美容医療は全て患者さん負担の自費になる点も違ってきます。

美容外科も正しい医療を実践するためには、良質な機材や注射、高いレベルの治療技術が必要です。それなりの材料費や設備費、人件費が必要になります。一般的に「美容外科は高いお金をとって儲けている」と思われがちですが、実際はそうではなく、国から公費をいただけ

ないので患者さんの支払いが多くなるといことなのです。

実はこのコラムの依頼時に、同級生の女性から「近藤君は頭にネジを埋め込んでクルクル回してお顔のシワを伸ばす凄じ手術をして活躍してるから興味津々」といったメッセージをいただきました。しかし、実際にはネジを回してクルクルお顔の皮膚を引き上げるMr.マリック氏の手品のようなことはしていません。脳外科医としての解剖知識と手術技術を活かし、髪に隠れる頭皮に小指幅の小さな切開創を設け、顔に傷を作ること無くフェイスラインの皮膚をその下層にある筋肉や骨から剥離した後、耳の前・もみあげ部分の皮膚を特殊な糸で引き上げ、側頭部の頭蓋骨に固定したチタン性の小さなネジにその糸を固定するチタンペックリフト®というお顔の若返り・リフトアップ治療です。ですから歴然とした医療です。この治療をお受けになると顔には傷はできません。しかも、しっかりフェイスラインが引き上がります。ただ私自身が考案・開発し、その方法の詳細を学会や論文でも公表していませんから、世の中には、手品のように神秘的に思われている部分があり、これを行えば、お顔全体が若返るといった誤解も招

いてしまいます。チタンペックリフト®はあくまでもフェイスラインのたるみを引き上げる治療なのです。

これに関連して、もうすこし美容外科の誤解という部分のお話しをさせていただきます。皆さんが病気で医師に治療を受ける際、いきなり医師が注射や薬、手術の持続性や効果についてご本人やご家族に語ることはありません。一般医療では、医師はまず診察や検査を行い、病気や症状の原因を分析し、それを説明した後、原因に則した治療を行います。医療に限らず、物事を改善するためには、いきなり方法に飛び付くのではなく、何が起きてそうなっているかを正しく分析・理解して適切な方法にたどりつくはず。ところが私が身を置く美容医療の世界では、同じ医療であるにもかかわらず、患者さんの悩みがなぜ起きているかの原因の分析や説明が医師からなされ無いため、患者さんが流行や広告の文句に飛び付いたり「手術は怖いから注射でとりあえず」というように、自分の都合で方法を選択してしまうことが日常茶飯にあるのです。これでは結果が出なかったり、かえって悪い結果をもたらしてしまう可能性もあります。

私は治療前のカウンセリングで医師が行うべきことは、注射や手術の

持続効果や治療後の腫れや内出血、治療費等以前に「なぜ悩みが起きているか」「もともとのお顔から歳をとり何が起きているのか」「美しいとされる方と一般の方は何が違うのか」「そういった原因の分析と説明が重要だと考え、初診の方は約二時間にわたるカウンセリングを行っています。それは脳外科医時代、救急で患者さんが搬入された際、疾患の知識を持たないご家族に、頭の中で何が起きているのかを詳しく説明し、治療にあたったこととまったく同じことなのです。ですから、私の美容外科クリニックでは患者さんの知識が無いなかで具体的な注射や手術を御希望し来院されても、その方の悩みの原因にあった治療法を改めてお勧めし、ご本人が理解された上で、施術させていただいています。全ての患者さんをこのスタイルで私自身がカウンセリング・治療行い続けています。

ところでなぜ私が脳外科から美容外科になったのか？という部分に皆さんはご興味を持たれると思います。私が若き日入局した京大脳外科教室は脳外科頭鏡手術の父、菊池晴彦先生が国立循環器病センター部長から同大学教授に就任された直後でした。当時の京大脳外科教室には志の高い優秀な医師が菊池先生を尊

敬し慕い集まっています。菊池教授は「医師は自分のためではなく、患者のため、社会のためにある」をモットーに術者としては勿論、医師として人間として大きく、懐の深い存在で、私の人生の礎を築いていただいた恩師です。若き日の私は、素晴らしい先輩や同僚医師に囲まれ専門知識、技術を学び身に付けながら情熱をもって患者の脳疾患治療にあたっていました。特に地方の関連機関病院赴任時は、医師の数が少ない中、脳卒中という救急医療が主になったため、二四時間フル活動で仕事に勤しんでいた記憶があります。因みに岐高昭和五七年卒、吉村紳一先生も岐大卒業後、国立循環器病センターにて私の同門医師と共にレジデントとして学ばれ、現在は脳血管内治療の世界的な権威となり兵庫医大脳神経外科教授として活躍されています。

しかし、数年の臨床生活の後、大学院に入学し研究生活に入った頃から私の心に変化がはじめていました。私は世界で初めてラットやモンキーに脳動脈瘤（くも膜下出血の原因）になる血管のこぶを作ることに成功したグループに属し、ヒトの脳動脈瘤の発生メカニズムを解明する研究にあたる機会をいただきました。それまで、私生活と医師としての

生活の区別も無く、無我夢中で目の前の患者さんの診療に脳外科医として明け暮れた日々から、世界でまだ解明されていない真実を探求し、解明し、発表していく研究生活に身を置くことになりました。その中で私は真実を明らかにするためには、物事の内側、本質を深く見つめることが重要であることを学びました。そしてそのことが、自分という人間は何者で、何を人生で行いたいのか、脳外科医としてでは無く、一人の人間として、自分を知ることが大切であると気が付いたのでした。

そもそも高校時代私は医師になるという志ではなく、あの時期それが全てであった受験という闘いで勝利するために、子供ながら精一杯努力しました。大学卒業後も脳外科医として目の前のことを必死にクリアしてきました。二〇半ばに結婚して、子供も授かった頃から改めて自分という人間と向き合い、「どうしたら周りの人を幸せにして、自分も幸せになるのか」を考えはじめたのです。脳外科医として診療や研究をした生活に燃え尽きた部分もあったと思います。西暦二〇〇〇年を超えた頃から数年間、滋賀県の山村地域の病院で救急医療から距離を置き、訪問診療や老健施設の患者さんを診ると同時に、自分の時間も持ち、三重や福

井の海に毎週でかけ、子供の頃から好きだった釣りを行うようになりました。「自分は人に喜んでもらうことが大好きな人間。形にこだわらず、この地域で一般医療の開業をして地域の人を診療しながら、自分も自分らしく笑顔で生きよう」この時点で、大学や大きな病院でのポストを目指す道から自ら遠退き、己の道を進み出しました。

そして美容外科転身を決意したのは二〇〇六年、二人の子供を連れて行ったドイツツーリーでした。その場にいる大勢の人が、子供は勿論、男性も女性も、お年寄りもあの素晴らしいシヨを観ることで、一瞬で心からの笑顔になる光景を目の当たりにした時でした。確かに医師として人の病を治し、人命を救うことは崇高で大切なことです。しかし、病気では無く生まれもったものや加齢によって生じた顔や身体の悩みでも、注射や手術といった医療でしか治せないことがあります。医師としてその分野で、脳外科医として培った経験や技術を活かすことができれば、病気に罹った人だけで無く、もっと多くの方々の笑顔を創ることできる、幸せに出来る、喜んでもらえる。前向きな医療が出来る。脳外科を二〇年でここまで出来たのだから、六五歳まで同じ二〇年、今から



でも必ずやり遂げられる。そう確信し、決意した瞬間でした。その翌年、私は独り上京し、大手美容外科に就業し、その後独立開業し現在に至っています。

そして、まだまだ私の自分探しの旅は続きます。百折不撓の精神と美しい故郷岐阜の景色を心に抱きながら…

生きることは 自分のため 人のため
人に必要とされることは 本当にありがたい
どうやったら 人の役に立ち
自分も幸せになれるか
人生は そんな自分探し

どうにもならない運命は受け入れながら
「百折不撓」努力して 自分の道 切り開く
決して長くない人生
独り一人が主人公

ロンリー侍ドクター